

サザンクロスルータシステム「AR260S V2」
ファームウェアリリースノート
Version 3.3.2

Ver.3.3.2

以下のとおり機能追加、機能改善が行われました。

1. 本バージョンで追加された機能

(1) PPPoE ユーザー名/ パスワード: 使用可能文字種

PPPoE 接続におけるユーザー名およびパスワードに使用できる文字種が変更され、前バージョンまで使用できなかった下記の記号が使えるようになりました。

`$'*/;<>`|`

この変更を反映するためには、本製品のファームウェアをバージョンアップした後に、Web ブラウザーのキャッシュをクリアする必要があります。

2. 本バージョンで仕様変更された機能

(1) アクセス制御にてプロトコルを指定して追加する場合、一部のプロトコル番号において、「No such command」エラーが表示され、追加できませんでしたが、これを修正しました。

(2) ENAT を設定した構成において、NAT プールにインターフェースのIP アドレスが含まれていた場合、WAN 側への通信が行えませんでした。これを修正しました。

(3) NAT 環境にて、LAN 側に設置したFTP サーバーをWAN 側からFTP PASV モードで利用できず、本製品に以下のログが記録されることがありましたが、これを修正しました。

```
FLT [054]: Failed to parse FTP command: 227 Entering Passive Mode(192,168,1,100,7,3).
```

(4) 「システム管理」-「サービスの有効/ 無効」の設定画面でファイアウォールを無効に設定しているにもかかわらず、追加のPPP セッションを新規作成した場合、新規作成したPPP セッションのみに対してファイアウォールが動作することがありましたが、これを修正しました。

(5) IPsec 環境にてTCP out-of-order が発生することがありましたが、これを修正しました。

(6) VPN 接続において、ISAKMP ハートビート機能を無効に設定した状態で、ハートビート

パケットを受信すると、IKE 関連のプロセスが異常終了したり、VPN 設定が消失することがありましたが、これを修正しました。

4. 本バージョンでの留意事項

(1) PPPoE インターフェース複数使用時のIPsec 経路変更

PPPoE インターフェースを複数設定し、仮想トンネルインターフェースを使用するIPsec 環境において IPsec 対向機器に対する経路(ルーティングテーブル)を変更する場合は、一度「切断」ボタンを押して PPPoE インターフェースを切断してから行ってください。

(2) MSS クランプ値の手動設定時のMSS 値

WAN 側インターフェースの設定においてMSS クランプ値を手動設定にした場合、MTU 値が1454Byte 以外の時にMSS 値が正しく設定されないことがあります。そのため、自動設定を使用するか、正しいMSS 値になるようにMSS クランプ値を調整してください。

(3) DNS リレー関連のログメッセージ

DNS リレーの問い合わせ先を自身のWAN 側インターフェースのIP アドレスに設定している場合に、LAN 配下のコンピューターから本製品のLAN 側インターフェースのIP アドレス宛にDNS クエリーパケットを受信した際、本製品に次のようなログメッセージが記録されます。

```
Aug 03 14:26:31 PMON [007]: [named] terminated unexpectedly. Restarting
```

```
Aug 03 14:26:31 PMON [008]: [named] restarted
```

```
Aug 03 14:28:07 PMON [007]: [named] terminated unexpectedly. Restarting
```

```
Aug 03 14:28:07 PMON [003]: Abandoned [named]
```

これを回避するには、DNS リレーの問い合わせ先を、本製品のWAN 側インターフェースのIPアドレス以外に設定してください。

(4) デフォルトルートの出力インターフェース

トンネルインターフェースを利用した IPsec 構成において、デフォルトルートの出力インターフェースをトンネルインターフェースにしている場合、WAN 設定の内容を変更すると、デフォルトルートの出力インターフェースが、PPPoE インターフェースに変更されてしまいます。
